

コード	10102
作成年度	21 年度

基本事業評価表

基本事業名称	新たな観光資源の開発とネットワーク化の推進
--------	-----------------------

総合計画の位置付け	
政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進
施策名称	魅せる観光のしまづくり

課コード	117			関係課名					
主管課名	観光物産課								
基 本 事 業 の 目 的									
カトリック教会群等、地域固有の財産を観光資源として活用し、新たな観光資源の開発と、雇用の創出に取り組むとともに、魅力ある観光ルートの開発や旅行商品の開発、地域全体のネットワーク化推進を図ることを目的とする。									
基 本 事 業 の 成 果									
成果指標名称 1			観光客延べ数			成果指標名称 2		観光消費額	
成果指標の積算根拠			長崎県観光統計			成果指標の積算根拠		長崎県観光統計	
目標達成年度			平成21年度			目標達成年度		平成21年度	
目標達成数値			250,000人			目標達成数値		4,700,000千円	
年 度				H17	H18	H19	H20	H21	
成 果 指標1	目標 A	単 位	人	210,000	220,000	230,000	240,000	250,000	
	実績 B		人	211,160	204,888	203,885	191,044	—	
	達成率 B/A		%	100.6	93.1	88.6	79.6	—	
成 果 指標2	目標 A	単 位	千円	4,300,000	4,400,000	4,500,000	4,600,000	4,700,000	
	実績 B		千円	3,406,000	3,457,000	3,439,000	3,262,000	—	
	達成率 B/A		%	79.2	78.6	76.4	70.9	—	
1次評価	現状	しま自慢観光カレッジによって、「しまの活性化」を担う観光人材の育成と雇用創出を図り、教会を中心に観光案内板や誘導板を設置するなど、利便性の向上を図った。また、町の観光振興ビジョンを作成し、実現化に向けた行動計画を示した。修学旅行については、県内のみの固定学校にとどまっている。							
	課題	ツーリズム協会の設立などによって、地域全体のネットワーク化を図り、体験型観光をさらに魅力あるものにするため、受け入れ体制の確立が急がれる。また、教会群や自然環境の観光商品としての更なる活用も課題となっている。インターネット等による情報発信も不十分である。							
	改善	受け皿としての大きな部分を占める宿について、新たな「じゃらんネット」の加入や「女将の会」による郷土料理の創出などを積極的に進めていく。タクシーやレンタカーなどの観光関連会社についても、おもてなし講習の受講を進める。また、観光ガイドコースで学んだ受講生が定期観光巡礼ワゴンにより多く乗務できる機会を作り、雇用の創出を目指していく。							
2次評価		観光客が立ち寄る商店や宿泊施設等に寄せられる意見等を十分集約し、上五島観光の新たな資源となるものが存在しないのか検討すること。またリピータを増加させるための観光客との心のお付き合い・戻られた後のフォロー等も検討対象とし、島内での観光ネットワークは無論のこと島外への交流ネットを図っていくこと。							
住民等の意見									
町の対応									

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。